

MySQLの GEOMETRY 型とJavaScriptの Geolocation API の活用事例





Frontend Engineer

堀 悟大

2014年高知大学理学部卒業。学生時代にHTML5の Canvas要素を使ってゲームを作っていたことでWeb全般に興味をもつ。アップルップル入社後はa-blog cmsを便利に使うための機能の実装や、HTML5の技術を使ったデジタルサイネージの実装を行う。趣味は英語。読むことも話すことも好き。





デモサイト









公開事例 523 件 販売実績 3,059 件



詳光台クラフトマルシェ



€ 圧接人



台鳳建築設計事務所



❷ 若鳩インドアテニスクラ



目次

- 1. 位置情報の活用例
- 2. 技術的説明
- 3. 今後の課題

1. 位置情報の活用例





a-blog cms では MySQLの GEOMETRY 型を活用していてます。

この機能を活用することで、利用者の位置情報に応じて店舗情報の出し 分けが可能になります。



記事に対して、位置情報を登録

<u>位置情報</u> <u>✔</u>	
Hashima 江南市 Komaki 小牧市 Satellite Komaki 小牧市 タ治見で Ama Aisai あま市 愛西市	住所、又はスポット名を入力してください 検索 緯度 35.185574 経度 136.899066 ズーム 10
Yatomi 弥富市 Toy Kuwana 桑名市 Tokai Tokai	

Google Map APIを使用して取得した緯度、経度をエントリー(記事)に 紐づけて保存します。



この位置情報の機能を活用してできたのが以下のサイト



spymaster.jp

愛知県の情報を集めたウェブマガジン





spymaster.jp



たとえば、



自分が現在いる地点から近い位置順にお店を表示





たとえば、



あるお店から近い位置順にお店を表示





2. 技術的説明



```
window.navigator.geolocation.getCurrentPosition(
   success,
   error,
   options
);
```

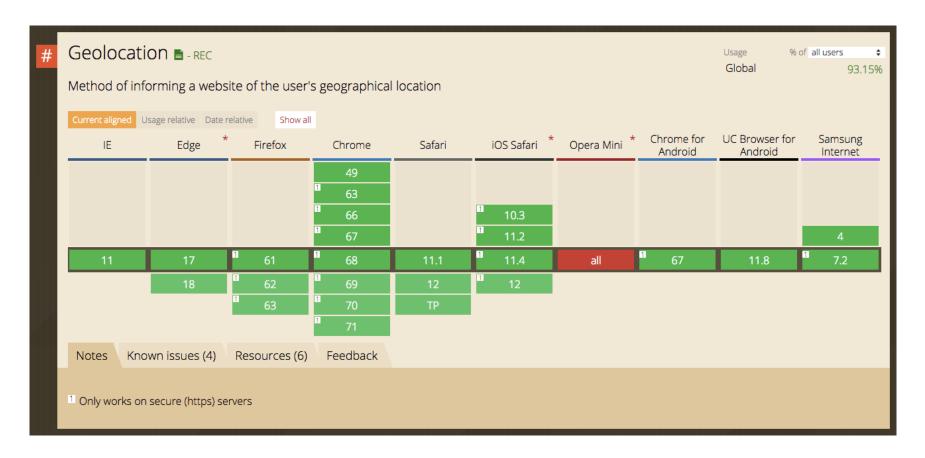
https環境下でないと位置情報を取得できない



success時

```
(longitude, latitude) => {
});
```





https://caniuse.com/#search=geolo



デバイスによる挙動の違い

- モバイルは2回聞いたら再び聞いてくる
- PCは一回許可すると許可したまま



フロントから送られてきた位置情報を元にSQL文を発行

MySQL5.7よりGIS機能関連が刷新されGEOMETRY型など位置情報に関するデータを扱いやすくなりました。



フロントから送られてきた位置情報を元にSQL文を発行

本当は ST_Distance などを使いたい。。。



今後の課題

Google Mapだけではなく、 OpenStreetMap や Yahoo Maps にも対応していきたい。

Leaflet.js の使用を検討



ありがとうございました